

平成22年度事業評価シート(ハード事業)

1 事業名等(Plan 1)

事業名	スポーツ施設整備事業											
所属名	市民活動部 スポーツ振興課 スポーツ振興グループ											
第七次総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	分野	3	スポーツ	基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる	施策	2	スポーツ施設の整備
予算科目	9	5	2	体育施設	費	95240	体育施設改修整備	事業				
					費			事業				
					費			事業				
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等	高山市第三次スポーツ振興基本計画											
事業の実施主体	○ 市		市以外→									
事業の実施方法	○ 直営		指定管理		業務委託		団体等補助		その他→			

2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	市民(施設利用者)	受益者数	96,231 人
目的	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	誰もが安全で快適に利用できるスポーツ環境を整備する		
概要	事業の実施手法、手順	計画的にスポーツ施設の整備を行う		
概要	事業始期・終期	始期: 前年度	年度から	始期: 前年度
概要	事業始期・終期	年度から	年度まで	設定なし ○
今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入			

3 事業費の推移・結果(Do)

区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
総合計画計画額(当初)		35,000	5,000	51,000	32,000	36,000	
総合計画計画額(計画額)		35,000	5,000	51,000	32,000	36,000	
財源	事業費	28,491	61,101	51,000			
	(計画・予算・見込・決算額)	決算・見込	25,309	60,226			
	国庫支出金	予算額		15,000			
		決算・見込		14,459			
	県支出金	予算額					
		決算・見込					
	地方債	予算額					
		決算・見込					
	受益者負担	予算額					
		決算・見込					
繰入	予算額						
	決算・見込						
一般財源	予算額	28,491	46,101	51,000			
	決算・見込	25,309	45,767				
H17国勢調査		96,231 人	32,174 世帯	※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価			
コスト指標	受益者負担率(受益者負担/事業費)	単位 %	-	-			
	市民1人当たりコスト(事業費/H17人口)	単位 円/人	263	626			
	1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯)	単位 円/世帯	787	1,872			
	受益者1人当たりコスト(事業費/指標)	単位 円/人					
	その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出)	単位 円/人					

(成果面)

活動・成果指標	活動指標	指標名	資料・出展算出式	単位
	活動	目標値	実績値	達成率
	活動	目標値	実績値	達成率
成果指標	成果指標	指標名	資料・出展算出式	単位
	成果	目標値	実績値	達成率
	成果	目標値	実績値	達成率

3 事業費の推移・結果(Do)

前年度までの実績(累計)	対象・手段	・施設の状況把握及び利用者ニーズ等をふまえ、計画的に整備を行った
	事業費	85,535 千円
	受益者負担	(内容)
本年度	対象・手段	・施設の状況把握及び利用者ニーズ等をふまえ、計画的に整備する
	事業費	51,000 千円
	受益者負担	(内容)

4 分析・評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)	施設の利用性の向上、安全性の確保のため、計画的に整備を進める必要がある	判定	A:非常に高い	目的評価	A	
②コスト面評価(事業の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)	計画的に整備を行っているものの、施設は老朽化してきている	項目	②コスト面	増加	維持	減少
③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)	年間施設利用者は増加しているものの、利用者ニーズは多様化している	③成果面	拡大	維持	減少	コスト・成果ポジション
				B		第2水準

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第1水準」	→ I 「良い」	良好な水準を維持
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第2水準」	→ II 「やや良い」	「I」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第3水準」	→ III 「普通」	「II」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第4水準」	→ IV 「やや良くない」	「III」の水準に向けた改善が必要
目的評価「C・D」もしくはコスト・成果「第5水準」	→ V 「良くない」	「III」の水準に向けた改善もしくは事業の休止、廃止などの検討が必要

5 今後の方向性(Action)

評価結果に対する改善提案(下記チェック)	計画どおり	改善・継続	終期設定	休止	廃止	完了
活動の方針	施設の状況及び利用者ニーズ等をふまえ、計画的に整備を進めるとともに、利用状況の低い施設については統廃合をすすめる					
次年度実施方針	同上					
総合評価		コスト	成果	評価区分	中 中 III	
		「II」以上の水準に向けた改善が必要				